

令和2年度 事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 ミャンマー ファミリー・クリニックと菜園の会

1 事業の成果

平成24年6月特定非営利活動法人として設立されたこの会は「ミャンマーの無医村に、医療・菜園を通じ保健衛生・栄養などを学ぶ機会を提供し、彼ら自身が生活環境の課題を解決し、命を育む未来を描ける社会の実現をサポートする」ことを目標に活動している。ミャンマーにおいて選定した活動地エーヤワディ管区ミャウンミャタウンシップの12の村で平成27年1月から巡回診療を開始した。その活動は今年度保健衛生指導に主軸を移し、16の村へ拡大している。保健衛生指導は令和2年4月1日から令和3年3月31日までに81回、延べ636人の受診者を得、病人の搬送波はなかった。前年度に比し、保健衛生指導の回数と受診者数が減少している。その理由として、平成最後の年の12月末に中国の武漢で発生したコロナ感染症の世界的な波及のダメージが大きい。さらに令和3年2月1日にミャンマーで勃発し、現在も続いている国軍によるクーデターの活動への影響は計り知れない。この2つの理由がミャンマー国内でのNGOの活動を妨げている。コロナ感染前は25団体が活動していたが、現在はMFCGを含め4団体のみが継続活動している。特に、コロナ感染に関し、MFCGが活動している村レベルでは、感染に関しての正確な情報の収集が不可能である。原因として、村の住民の人たちは、携帯を持参している人は殆どいない。また、電気もない環境なため、メディアのテレビなども持っていない。そのため、情報収集の方法としてはほんとに極限られた情報や噂に頼ることになる。その結果、我々の巡回しているモジョーパン村からヤンゴンから戻ってきた人の感染者が発生した。が、どのように対応すればよいのか明確に知る人がいず、兎に角、Locked Downが行われたただけであった。令和2年月1日にタンジ4一村で行った井戸の設置以降、コロナ感染のミャンマー国内の感染拡大の被害などを見定めるため、ヤンゴンに6月11日まで滞在した。6月12日にミャウンミャに戻り、活動再開の準備を開始。しかし、保健省からミャンマー全土へStay Homeの戒厳令が発せられたため、活動現場である村々に赴くことが不可能となった。その後、現地の状況を電話などで収集し、政府からの戒厳令緩和などを考慮し、8月末から保健衛生指導（ヘルストーク）の活動をまずは3村から再開した。そして、活動の再開は16村へ戻った。しかし、令和3年2月1日のクーデター後、セキュリティを慎重に考慮し、現在、12村でしか行っていない。ヘルストークの内容は、当初、コロナ感染の予防に特化し、6つのすべき予防策と3つのしてはいけない予防策を村々の住民に伝えていた。感染の影響でStay Homeが長くなり、農作業もできなくなり、収入は激減した。その結果、住民は街へでかけ、石鹸やマスクなどの購入も不可能になった。我々は、住民へ1164枚のマスクと1545個の石鹸の配布を行い、感染の予防に貢献した。この感染予防方法の中にはMFCGが普段から伝えていたバランスの良い栄養をとる大切さや手洗いなどの保健衛生啓蒙活動が含まれており、常日頃からの予防の重要性が際立った。住民の中にはMFCGの活動の必要性を再認識してくれた人もいた。さらに、40度以上になる4月5月の暑季に熱中症にならないようにするために脱水予防のためのORSの作り方などを3月の時点で指導した。MFCGのミッションである住民の自立(自律)を啓蒙する一貫として、育成した各村での地域保健推進員(CHP)もMFCGのメンバーの一員として彼ら自身が保健衛生の大切さを住民に広めている。彼らは自分たちで村ごとに目標を掲げ、それを達成するにはどうすればよいか?など毎月、必ずミーティングを行い、改善策を練り、実践につなげている。特別活動として、タンデイー村で現在MFCG単独でお産のための安全な水を確保するために井戸堀の事業を行い令和3年1月に完成した。また、菜園に関して、16の村のうちモデルケースとなるトイ村においてコミュニティガーデンを構築し、当初は栽培した作物の余剰分を販売するなどしても赤字であった。が現在は5,000円ほどの黒字に転じている。日本ではコロナ感染の影響に

より毎年開催していた無料康相談会や報告会は延期とした。企画していたミャンマー料理を作る会などミャンマーと日本との親睦会などもすべて延期とした。状況が不安定な中でも、活動は継続して行われており、令和2年度の全資金の86.4%を活動費に活用した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
A) 国際協力および海外事情に関する情報収集ならびに調査研究と報告事業	1. ヘルストーク(保健衛生) 啓発活動	令和2年4月1日-令和3年3月31日 計81回	ミャンマーエーヤワデア管区ミヤタウンシップ	4人	636人(HE)	3532
	2. 活動報告会 (MFCG参加イベント、MFCGスタディーツアー説明会など)	延期				
	3. MFCGナイト(支援者との交流会など)	2回	ZOOM(オンライン上)	2人	約20人/回	
	4. 活動啓発活動(参加イベント・インタビュー雑誌掲載など)	令和2年奇数月号掲載寄稿文計6回	鎌倉朝日新聞	1人	不特定	
		埼玉県人会寄稿文2月号・3月号	埼玉県人会	1人	1,000~13,000人	
		公研3月号		1人	不特定	

B) 社会的に困難な状況にある人々に対する医療を通じた問題解決支援事業	1 ヘルストーク(保健衛生) 啓発活動	令和2年4月1日-令和3年3月31日 令和3年1月18日	ミャンマー エーヤワ デ管区ミ ャウン ミヤタ ウンシ ップ タンデー 村 井戸 掘り事 業	約4~6人 25人	636人 (HE) 約600人	3735
C) 災害その他の緊急事態に対する救護、復興支援および防災事業	1、水害被害への緊急物資支援	該当事項なし				0
D) 食料自給に関する技術支援ならびに共同生産事業	1 専門家と連携した有機作物栽培の講習と実践	定例会(コミュニティ ガーデン ミーティ ング・そ の他)	ミャンマー エーヤワ デ管区ミ ャウン ミヤタ ウンシ ップ 主にト- イ村	3人	6人	2673
E) 生活向上をめざす人々が作る生産物の普及または紹介を通じた雇用創出事業	1 専門家との連携した有機作物栽培の講習と実践	同上	同上	3人	6人	2657

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	事業費の金額(千円)